

広 報

あなたとまちを
つなぐ情報紙

あらお

しあわせ 創生 あらお Arao City Public Relations vol.1520

4月1日、市内の梨畑で梨の花粉付けが行われていました。生産者たちは受粉のための花粉を入れた容器と受粉棒（綿毛のついた耳かきのような棒）を持ち、花の一つずつに丁寧に受粉していました。自家不和合性という性質を持つ梨は、受粉のために自身と違う種類の梨の花粉が必要です。加えて、5本の柱頭全てに受粉しなければ、きれいな形の実がなりにくいという性質もあるため、人の手で丁寧な受粉が不可欠です。

荒尾市の特産品である梨。春の訪れとともに行われる花粉付けから本格的な栽培が始まります。豊かな実りへ向けて、生産者たちの歩みは続きます。

「おいしい梨になりますように」

5

May 2019

〔令和元年〕